

委託業務特記仕様書（令和7年5月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

委託業務共通仕様書について

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（成績評定の選択制（試行））

- 第4条** 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満及び、変更契約で業務委託料が100万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

（受発注者共同による品質確保）

- 第5条** 重要構造物（橋梁、トンネル、樋門、砂防等）設計や、補修設計において、必要であると判断された場合は、情報共有（設計条件の留意点、関連業務の進捗状況、設計変更の提案等）・設計方針の確認を目的とした、合同現地踏査等の発注者、受注者（測量、地質、調査、設計）で設計条件・方針を確認できる場を設けることができるものとする。
- なお、費用及び参加者等の詳細については、監督員と協議の上、決定するものとする。

（ウィークリースタンス）

- 第6条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組まなければならない。
- （1）ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）

- (2) マンデー・ノーペリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- (3) フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。
- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

（業務スケジュール管理表）

第7条 本業務は、円滑な業務の実施と品質の向上を図るために、受発注者の役割分担の明確化と懸案事項や業務スケジュールを共有する、業務スケジュール管理表を作成しなければならない。

- 2 受注者は、業務スケジュール管理表を初回打合せ後速やかに提出するものとし、中間打合せ時等、必要に応じて修正をするものとする。

（Web会議【発注者指定型】）

第8条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web会議（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

- 2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

（Web検査【発注者指定型】）

第9条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web検査（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

- 2 Web検査は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

（業務箇所への遠隔臨場【受注者希望型】）

第10条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「遠隔臨場（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「委託業務における遠隔臨場に関する実施要領」を適用する。

- 2 受注者は、遠隔臨場の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

委託業務における遠隔臨場に関する実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215928/>

（情報共有システム活用業務【受注者希望型】）

第11条 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。

- 2 対象業務は、次のURLにある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県CALS/EC <https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukyouyuu/>

（CIM活用業務【受注者希望型】）

第12条 本業務は、C I M（Construction Information Modeling, Management）を活用し、建設生産・管理システム全体の課題解決および業務効率化を目的とした「C I M活用業務（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「C I M活用業務試行要領」を適用する。

2 受注者は、C I M活用業務の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

C I M活用業務試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7238626/>

（本業務の特記仕様事項）

第13条 本業務における特記仕様事項は、別紙のとおりとする。

特記仕様書

1. 業務目的

本業務は、福井ダムの管理用水力発電設備の老朽化対策について詳細設計を行うものである。

2. 業務内容

2.1 設計条件

設計の基本条件は以下のとおりとし、各設備の詳細は別途記載する。

- ・福井ダム管理用水力発電設備について現地調査を行い、これらの設備について「ダム・堰施設技術基準(案)」に準拠した老朽化対策を検討・設計するものである。
- ・老朽化対策は、「R 6 阿土 福井ダム 阿南・福井 管理用水力発電設備検討業務」の結果を考慮し、以下の対象範囲で詳細設計を行うこと。

① 更新

配電盤（直流電源盤、主変圧器盤、所内盤、主回路盤、発電機保護盤、発電機盤、自動電圧調整装置盤、調速機制御装置盤）

② 改修

水車、入口弁、ガイドベーンサーボモータ、発電機、励磁装置

- ・供用中のダム管理に配慮した施工計画とすること。
- ・電力会社の配電系統に連系する地点及び電圧は変更しない。
- ・設計に採用する機器及び材料は、JIS 等の各種規格に適合するもの又は同等以上のものとする。
- ・業務項目は以下のとおりとする。

項目	単位	数量
(1) 計画準備	式	1
(2) 基本事項の確認・決定	式	1
(3) 電気機械設備設計	式	1
(4) 土木設備設計	式	1
(5) 施工・仮設備計画	式	1
(6) 照査	式	1
(7) 報告書作成	式	1
(8) 打合せ協議	式	1

2.2 業務内容

(1) 計画準備

- ・本業務実施にあたっての技術的方針および作業スケジュールを検討し、業務計画書を立案作成する。また、現地調査に先立ち、管理用水力発電設備の既往維持管理資料(完成図書、土木竣工図、既往補修・改修履歴、調査・点検報告書、工事記録等)及び維持

管理計画を確認・整理し、現地調査の基礎資料を作成する。

- ・現地調査基礎資料をもとに管理用水力発電設備の現地調査を行い、発電設備の状況および施工環境等を把握して整理する。

(2) 基本事項の確認・決定

- ・現地調査結果及び既設備完成図書の内容を確認し、機器配置、形状、建屋内スペース及び発電所基礎取壊し範囲等について詳細検討を行う。

(3) 電気機械設備設計

1) 水車・発電機

- ・発電設備の現状にもとづき改修範囲及び内容を検討する。
- ・予備品の要否について検討を行う。

2) 運転制御・保護装置及び配電箱

- ・ダム運用にもとづき、水車・発電機の制御方法、制御項目、計測装置、保護装置について検討を行う。
- ・開閉装置（主要遮断器）の容量について設計計算、仕様選定を行い、機器姿図、布設図等を作成する。
- ・配電盤の集約など設備の簡素化について検討すること。
- ・設備のデジタル化などにより操作性・信頼性等の機能向上を図ること。また、機能向上の内容を分かりやすくまとめること。
- ・信頼性の確保及び復旧の迅速化などを考慮し、予備品等の要否について検討を行うこと。

3) 系統連系検討

- ・電力会社から提供される配電線諸定数から、連系に必要な装置の検討を行うとともに、電力会社に対する接続検討申込資料（案）を作成する。

4) 工事発注資料作成

- ・設計検討により決定された機器仕様をもとに、見積仕様書及び工事発注に必要な特記仕様書、単線結線図、設計図面を作成する。
- ・作成した設計図面にもとづき、工事発注に必要な電気関係工事数量及び労務工数等の計算を行う。

(4) 土木設備設計

- ・電気機械設備の更新・改修後の機器寸法・重量にもとづき、発電所基礎等必要箇所の強度検討を行い、既往設備の流用の可否を検討する。
- ・水車及び発電機撤去・据付に伴い必要となる機器基礎改修範囲を検討する。
- ・入口弁下流側ドレン管について、排水不良の原因調査を行い、改修範囲と改修方法を検討すること。
- ・設計検討により決定された仕様にもとづき、工事発注に必要な設計図面及び数量計算書を作成する。

(5) 施工・仮設備計画

- ・工事の施工方法、施工手順、施工機械の選定等、施工計画を立案するとともに、工事に必要な仮締切工法等、仮設備計画及び工事工程計画を検討する。
- ・工事中のダム維持放流を考慮し、維持放流への影響を低減する工事工程とすること。

(6) 照査

- ・業務内容についての照査を行う。

(7) 報告書作成

- ・以上の検討結果をとりまとめて報告書を作成する。
- ・設計条件、使用した基準、検討結果の決定根拠や経緯について分かりやすくまとめる。

(8) 打合せ協議

- ・本業務における打合せは、初回、中間 1 回、成果品納入時の 3 回とし、必要に応じて適宜追加する。

(9) その他

- ・本仕様書に記載のない事項であっても、業務上必要な事項については補完すること。
- ・追加検討事項が発生した場合は、発注者から指示するものとする。

3. 既設設備仕様

既設設備の仕様は以下のとおりである。

(1) 取水設備

- a. 取水する河川の名称 福井川水系福井川
- b. 取水地点位置 徳島県阿南市福井町鉦打地先
- c. 取水方法

福井ダムの河川維持用水・農業用水放流管および非常用放流管路の取水設備を利用し、最大 0.70m³/s を取水し、水圧管路を経て、最大 99kW を発電した後、延長 4.0m の放水路により福井川に放水する。

d. 規格

- No. 1 高圧スライドバルブ(Φ400mm)取水口中心標高 EL. 40.5m
- No. 2 高圧スライドバルブ(Φ400mm)取水口中心標高 EL. 37.5m
- No. 3 高圧スライドバルブ(Φ700mm)取水口中心標高 EL. 32.0m

(2) 放流設備

a. 規格

- No. 1 コーンスライドバルブ(Φ300mm)
- No. 2 ジェットフローゲート(Φ700mm)

(3) 放水路

- a. 亘長 4.00m
- b. 勾配 Level $\sim 1/1.0$
- c. 型式 暗渠
- d. 寸法 高さ 2.20 $\sim$ 3.63m、幅 1.50m
- e. 圧力 0kPa

(4) 水圧管路

- a. 圧力 410kPa
- b. 管胴の長さ
 - 本管 管径 700A : 63.021m
 - 管径 700 $\sim$ 600mm : 0.610m
 - 管径 600A : 39.104m
 - 枝管① 管径 400A : 27.500m
 - 枝管② 管径 400A : 22.000m
- c. 管厚
 - 本管 管径 700A : 8.0mm
 - 管径 700 $\sim$ 600A : 8.0mm
 - 管径 600A : 6.5mm
 - 枝管① 管径 400A : 6.0mm
 - 枝管② 管径 400A : 6.0mm
- d. 材料 ステンレス鋼(SUS304)
- e. 接合方法 フランジ接合
- f. 支持方法 ダム堤体および地中埋設

(5) 水車

- a. 種類 横軸クロスフロー水車
- b. 台数 1台
- c. 出力 110kW
- d. 回転数 450min⁻¹
- e. 制水弁種類 電動操作式蝶形弁
- f. 制水弁主要寸法 $\Phi 600\text{mm}$
- g. 吐出管種類 鉛直形
- h. 吸出高 0m

(6) 発電機

- a. 種類 横軸三相交流同期発電機
- b. 台数 1台
- c. 容量 110kVA
- d. 力率 95%
- e. 電圧 440V
- f. 相 3相
- g. 周波数 60Hz

- h. 回転数 450min^{-1}
- i. 結線 星形
- j. 冷却方式 自己通風式
- k. 保護継電装置の種類
- l. 遮断 不足電圧、周波数異常、発電機過電流、発電機過電圧、主機過速度
- m. 警報 直流回路異常

(7) 励磁装置

- a. 種類 ブラシレス励磁方式
- b. 容量 2.7kW
- c. 回転数 450min^{-1}
- d. 駆動方法 発電機と直結
- e. 原動機との連結方法 直結